

あ い さ つ

京都府高等学校体育連盟
会 長 渡 邊 孝
(京都府立桂高等学校長)

平成26年度京都府高等学校体育連盟「高体連誌第54号」の発刊にあたり、ごあいさつ申し上げます、

まず、加盟校、各専門部の皆様の御支援・御協力の下、本年度を無事終えることが出来ましたこと、誌面ではありますが、心から御礼申し上げます。

本年度も、本連盟では諸会議（理事・評議員会、専門委員長会議、中・高連携会議）と各種体育・スポーツ振興事業（選手派遣、大会開催、競技力向上、研究調査、広報、一般生徒対象）と、盛り沢山の事業を行ってまいりました。

とりわけ、南関東ブロックでの全国高等学校総合体育大会や冬季に行われるそれぞれの全国大会、全国定時制通信制体育大会、その他の全国大会において、団体種目では自転車競技の優勝を含め入賞数25、個人種目では陸上競技、水泳競技、少林寺拳法から12種目の優勝を含め入賞数は104となり、参加人数が減少したにも関わらず京都府選手団として大活躍をしてくれ、入賞者数は増加しました。また、第33回皇后盃全国都道府県対抗女子駅伝競走大会においては、残念ながら優勝をした大阪から一秒遅れの2位となりましたが、高校生が活躍し貢献してくれました。

さて、平成27年度、和歌山県を主開催県として近畿地区で全国高等学校総合体育大会が開催されます。本府においても6競技の開催に向け、実行委員会と連携を図りながら該当専門部を中心に準備を進めてまいりました。ブロック開催に変更となり、初めての近畿での開催となります。大会を成功させるために府高体連加入の全ての学校・専門部が一丸となり支援していかなければならないと考えており、御協力を御願いたします。

また、全国高等学校体育連盟では、体罰根絶に向け全国共通ルール発信、26年7月1日より施行しています。すでに9件の体罰事案が全国高体連に報告されており、部活動中において体罰が発生しやすいことから、今後とも引き続き学校や専門部において注意喚起をお願いしたいと思います。

最後になりましたが、本連盟に対し御協力・御支援をいただいております関係のみなさまに重ねて御礼を申し上げまして、発刊のあいさつとさせていただきます。